



愛染園南港東保育園（令和4年度）

## 『木とふれあう木育推進事業』

次世代を担う子どもたちの成長を支援します！

大阪府 環境農林水産部 みどり推進室

# 木育とは？

『こどもから大人まで全ての人を対象に  
「木とふれあい、木に学び、木と生きる」 取組み』です。

⇒こどもの頃から木を身近に使っていくことを通じて、

人と、木や森との関りを主体的に考えられる豊かな心を育むことも

期待されています。 (政府広報オンラインHP「国産木材を利用して、日本の森林を元気に保ちましょう」より抜粋)



万博れんげ保育園 (令和5年度)



愛染園南港東保育園 (令和4年度)

# こども木育基金について

現代のこどもたちにとって、  
昔と比べると木は身近ではない

(要因)

- ・生活環境の変化（生活の洋式化）
- ・木材以外の製品の方が安価 等



## 木育基金（現：こども木育基金）の発足

大阪府では、こどもの頃から木材に接する機会を増やすことで、木の良さを体感し、森林の大切さについて理解を深めることを目的として、平成24年に木育基金(現:こども木育基金)を創設しました。



こども木育基金（ご寄附）は、  
この事業で使用します。

## 「木とふれあう木育推進事業」の概要

### 事業概要

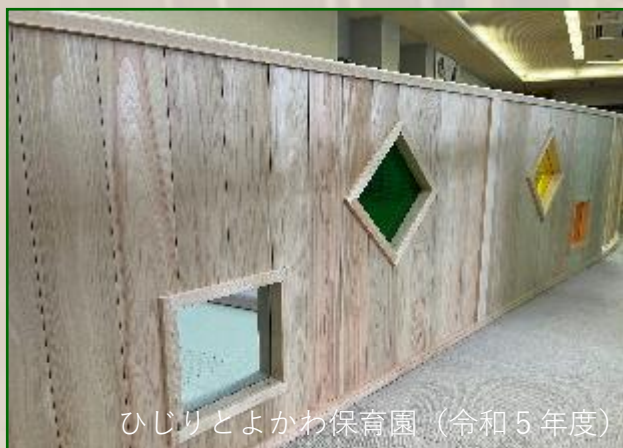
大阪府内の子育て施設が『木製品(机・椅子・玩具等)』を購入することを補助しています。

### 対象製品

木製品は『**大阪府内産木材**』を使用して製造されたものに限定しています。

### 実績

平成29年にスタートし、これまで95施設に補助を行いました。



ひじりとよかわ保育園（令和5年度）



和光園（令和3年度）

〈参考データ〉（令和5年4月1日時点）

- 大阪府内の認可保育所等（認定こども園含む）  
**2,863施設**
- 大阪府内の幼稚園  
**520施設**

# POINT 1



## 木がこどもに与える影響



### 豊かな感性と心の育成

木製品は、同じ製品でも木目や色、手触りが異なり、同じものではありません。  
こうした木製品の長を五感で感じることで、こどもたちの豊かな感性と心を養います。



### 創造力の向上

「大阪の森はどこにあるの?」「この木はなんで切ったの?」等  
こどもたちが森林や環境のことを考えるきっかけとなり、創造力の向上に繋がります。



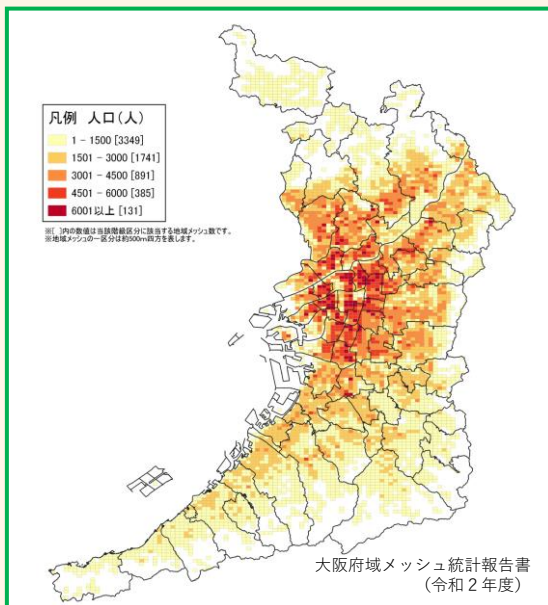
### 成育環境の向上

木材にはストレス緩和や室内の快適性を高める特性があることから、こどもの成育環境の向上に繋がります。

森林分布図



人口分布図



# POINT 2

## 木材利用は防災・減災に繋がる

### 大阪府の森林の状況

#### 1 森林の割合

大阪府域の30%は森林です。

#### 2 森林の配置

市街地を取り囲むように森林があります。

また、市街地と森林の距離が近いことも特徴です。

#### 3 災害発生時の危険度が高い

市街地と森林の距離が近いことにより、地震や台風に起因する土砂崩れ等の災害が発生した際には府民に危険が及ぶ可能性が高いです。

府民をこうした災害から守るためには、災害に強い、『健全な森林』に育てる必要があります。

# POINT 2



## 木材利用は防災・減災に繋がる



政府広報オンラインより引用



参考：間伐後の森林の様子

1

『健全な森林』に育てるためには？

「間伐\*を行いつつ、木が育てば伐採して、新しい木を植える」  
こうした一連のサイクル（「森林の循環」）が大切です。

2

なぜ「森林の循環」が大切なのか？

間伐等の森林整備が行われることで、地表近くまで日光が届き、  
根や幹の成長が促進されるだけでなく、下草が生えることで、  
豊かな土壌が育まれ、土砂崩れを防ぎます。

3

木材利用の重要性

「森林の循環」により『健全な森林』を育むには、成長した木を  
木材として利用することが、とても重要になります。  
⇒木材の利用先が無ければ、木を切ることができず、  
新たな若い森林を育てることができないからです。

\*「間伐」とは、木の成長に伴い過密となった森林内の立木の  
密度を調整するために木を切ること。

# POINT 3



## 木材利用は脱炭素社会の実現に貢献する



なのき保育園（令和元年度）

### 木製品は『炭素の缶詰』？

森林にはCO<sub>2</sub>を吸収し、炭素を固定化する機能があります。  
この機能は、切られた後の木材やその木材に加工がされた後も  
木材を燃やさない限り変わりません。  
そのため、木製品は『炭素の缶詰』と呼ばれています。



ながいけ認定こども園（令和元年度）

### 木材を利用すると、CO<sub>2</sub>の吸収量が増加する？

木材として利用されている木の多くは、植樹されてから50年以上  
が経過した老齢な木です。  
そのため、木材を利用することは老齢な木を切ることにつながり、  
さらには、新しい森林を育てることにつながります。  
このように森林の若返りを図ることでCO<sub>2</sub>の吸収量は増加します。

# ご寄附いただくメリット

## 税制上の優遇措置

1

- 法人からのご寄附は、寄附金相当額が損金扱いとなります。大阪府外に本社のある法人で寄附金額が10万円以上の場合、「地方創生応援税制（企業版ふるさと納税）」を活用できます。
- 個人からのご寄附は、「Loving OSAKA納税制度」により、限度額内であれば2千円を超える部分について、全額が住民税（翌年度）・所得税から軽減されます。

2

## 寄附者名の情報発信、感謝状の贈呈

- 寄附者名を下記一覧に掲載・情報発信します。
  - ・大阪府HP（「こども木育基金」、「企業版ふるさと納税」等）
  - ・大阪府内林業関係者、全国の自治体向け情報誌
  - ・「木とふれあう木育推進事業」にて補助を実施した子育て施設に寄附者名を掲載したチラシを配布します。
- 知事名の感謝状をお渡しします（10万円以上のご寄附に限る）。

『こども木育基金』へのご支援は、大阪の森林を守り、こどもたちの豊かな成育環境を作り出す大切な一歩となります。皆様のご協力を心よりお待ちしております。



©2014 もずやん

### 〈連絡先〉

大阪府 環境農林水産部 みどり推進室 森づくり課 森林支援グループ  
TEL:06-6210-9556 FAX:06-6210-9551  
Email:midorikankyo-g10@sbox.pref.Osaka.lg.jp



↑申込はコチラから↑